

# カブ

水の管理がとても大切です。天候や土壌水分を把握して管理しましょう。



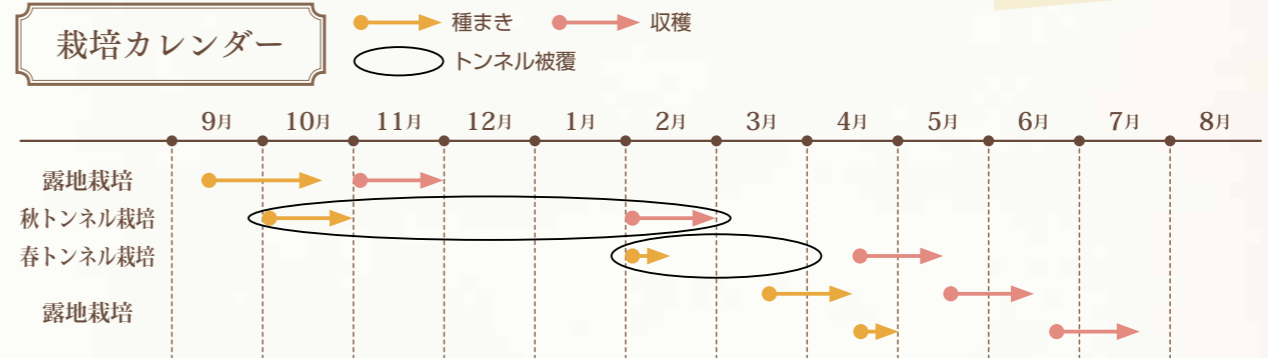
川根営農経済センター  
山田 大輔

◇植物分類  
アブラナ科

◇原産国  
アフガニスタン  
南ヨーロッパ  
(地中海沿岸)

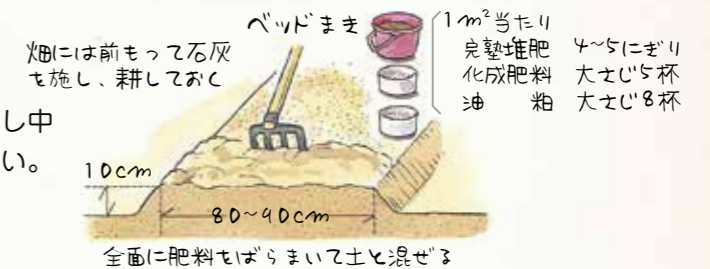
カブは、冷涼な気候を好み、気温15～20℃でいちばん良く育ちます。低温にはかなり強く-5℃まで耐えますが高温には弱いです。土質は問いませんが、排水不良にならないように高畝栽培をお奨めします。短期間で収穫できるのが特徴です。

## 栽培カレンダー



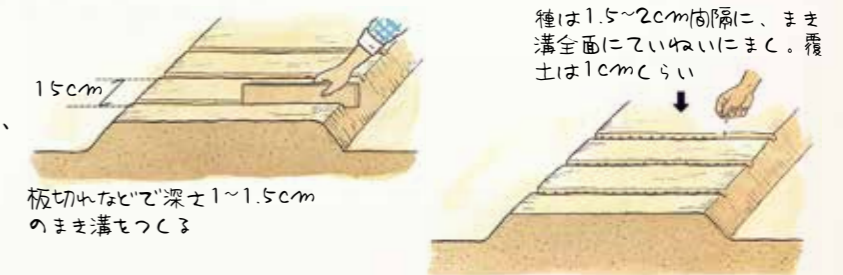
## 1 畑の準備

種まきの2週間くらい前には苦土石灰等施肥し中耕します。1週間前に元肥を施肥してください。



## 2 種まき

小、中カブは、条株間10～20cm、大カブは条株間20～30cmに3～4粒蒔き、1cm位覆土します。その後、ムラの無いようたっぷり水をかけます。



## 5 収穫期

種子の特徴に記載されている大きさになれば収穫です。取り遅れは、食味の低下や亀裂が生じやすくなります。

根が太りすぎ、間引き収穫して食べる。若い頃は葉もおいしい



径5cm前後になったころが「いちばんの食べごろ」。さらに大きくなっても大丈夫

管理が悪いと不良品が多くなる(金町系カブの例)



正常 株間が狭 土壌の乾 生育ざかり  
く込みすぎ 湿りが激し に寒さにあつ  
たときなど かったとき たときなど

## 3 間引き

本葉2～3枚頃2本にし、4～5枚頃1本に仕立てます。子葉の形がきれいなハート形の葉ものを残します。

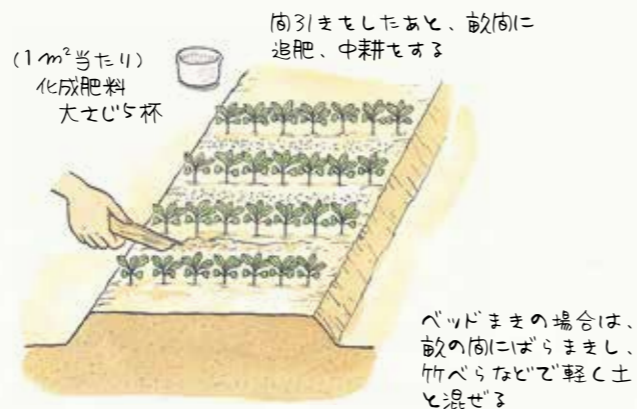
Point

間引きはいつも葉が大きく重ならないような感覚を与えるのが基本。品種によって大きさが違うので、最終株間はそれに見合ったものとする。



## 4 成長期

表面の土が乾いたら灌水します。播種15日後くらいに除草を兼ねて中耕します。葉色が薄い場合は追肥をしてください。



## おすすめ品種

### ★あやめ雪カブ

紫と白の色合いがきれいな小カブです。夏を除いて、若取りでも結球がしまり、ち密な肉質で甘みが強くサラダや酢漬けがお奨めです。



### ★聖護院カブ

直径15cm以上になる大カブで、『京の伝統野菜』の一つです。柔らかい肉質で千枚漬けに最適です。皆様も挑戦してみてください。



## おすすめ資材

### エコープ 漬けもの酢 (浅漬用)

とってもカンタン!

ただ漬けるだけで、とってもおいしい

下漬 (塩漬) 不要

カット野菜に漬けるだけ

肉・魚料理にも使える

お問い合わせは、各営農経済センターまで!

